

## 防災ラジオドラマ

グループ「ほにやらキッズ」

タイトル「ぼくらがたいけんした たつまきのあくむ」

今日は仲良し4人グループで遊びに来ています。みな車椅子ユーザーです。電車で来たしょうた君のほかは介助者の運転する車で来ました。彼らは1階の身障者用駐車スペースに車を止め、エレベーターを使って2階が上がってきたところです。

エレベーターが空く音（4秒）

ともやす「ゲームセンターいかない？」

しんや「いいよ」

しゅんご「ねえねえ、ゲームセンター行こうって言ってるよ。」

しょうた「オッケー」

ともやす「なにやろうかな」

しんや「ねえ、マリオカートの対戦やらない？」

ともやす「いいよ」

しゅんご「じゃあ僕達はあつていに行ってみよう。」

しんや「りょうかい」

しゅんご「じゃああっち行ってるね」

しんや「うん、わかった」

彼らは二手に分かれて遊び始めました。

ゲームセンターの音(突然途切れる)

他の客「なになに？停電？」

ざわめき

しんや「ぎゃー！真っ暗だー！　とも君大丈夫？」

ともやす「うん、だいじょうぶ！何も見えないねー　介助者さんはどこ？」

介助者A「後にいます。携帯つけますね」

介助者B「僕もここにいます」

ともやす「少しあかるくなったね。しょうた君としゅんご君はどこにいるかな？しょうた君

に電話してみるねー」

しんや「僕はしゅんご君に電話するねー」

電話の呼び出し音

ともやす「電話出ないよー」

しんや「僕も出ないよー　どうしよー？」

ともやす「みんな出口のほうへ歩いて行くみたいだけど、どうする？」

しんや「暗い中動くとあぶないんじゃないの？介助者さんに見てきてもらおう？」

ともやす「それがいいかも」

しんや「すみません。様子を見てきてもらえますか？」

介助者B「はぐれてしまうといけないのでここから動かないくださいね。」

介助者A「僕はここに一緒にいます。」

ざわめき・足音

介助者B「警備員さんから階段をつかって一階の広場に出るように指示があったそうです。」

ともやす「エレベーターが止まったね。おりられないんじゃない？」

しんや「取り残されたらどうしよう？」

介助者B「車椅子を使っているので階段を降りられない人が4人居ると伝えてきました。動かずに待っていて下さいとのことです。」

ざわめき・足音

客「大丈夫ですか？停電みたいですね？何かお手伝いすることありますか？」

しんや「ありがとうございます。今お店の人が来てくれるみたいです。」

客「わかりました。お気をつけて。」

ともやす「あ。しょうたからでんわだ。うん。だいじょうぶ。さっき電話したんだよ。こっち

はお店の人が来てくれるみたいで、うごかないでまってる。そっちは？・・わかった。じゃあとでね。」

しんや「なんだって？」

ともやす「だいじょうぶだって」

店員「お客さま大丈夫でしょうか？安全な所にご案内します どうぞ！こちらへ」

しんや「暗くて見えないので介助者さん連れてって下さい。」

ともやす「ぼくもおねがいします」

介助者A「では、行きましょう」

(安全な所についた)

しんや「あゝ しゅんご君もしょうた君もいる よかったゝ！」

しゅんご「ともやす君としんや君だゝ 大丈夫だった？」

ともやす「うん 店員さんが来てくれたから大丈夫だったよゝ びっくりしたゝ」

しんや「なんで停電しちやっただらうね？」

しょうた「わからなくい いま店員さんが調べてるみたいだよ エレベーターも止まってるって」

ともやす「そうなんだ・・・ 介助者さん、ぼくの携帯使って調べてください」

しんや「エレベーターが動かないと帰れないね どうしよう？」

しゅんご「誰かに手伝ってもらって 階段おろしてもらおう？」

しょうた「怖いからいやだよ」

しゅんご「でも一緒におりないと帰れないよゝ」

しんや「店員さんが戻ってくるのを待とう」

しょうた「そうだ。電車動いているかな？調べてみる。」

ともやす「介助者さん何かわかりましたか？」

介助者A「原因はわからないけど 停電してるのはこの周辺だけみたいだよゝ」

しゅんご「電車どうだった？」

しょうた「いつもどおり動いてるって。良かった。」

(この時店員さんが帰って来ました)

店員「お待たせしました。ただいま近隣で竜巻がありまして停電になりました。ご迷惑をお掛

けしまして申し訳ありません。復旧に時間がかかりそうなのでこのまま閉店いたします。

もうすぐ他のスタッフが参りますので、ここでお待ちいただけますか？」

しゅんご「この後、どうなるんですか？」

店員「何人かで階段をおろします。最後まで責任を持って対応いたしますのでご安心ください。」

(男性スタッフが四人集まりました)

店員「お待たせいたしました。それではお一人ずつ移動しましょう。この車椅子はどこを持って

ばよろしいですか？」

しゅんご「こことここをお願いします」

店員「わかりました。それでは行きます。せーの！」

(店員さんのサポートにより4人無事に駐車場まで移動できました。)

しんや「大変だったね」

ともやす「でも怪我をしなくてよかったね」

しゅんご「やさしい店員さんだったね」

しろうた「今日は疲れたから家に帰ってもいい？」

しゅんご「そうだね。お母さんも心配するしね。帰ろうか！」

ともやす「バイバイ！ 気をつけてね」

ともやす、しんや、しゅんご、しろうた「じゃあねー！」